

識者・現場に聞く

# 農業委員会の使命・役割

【6】

「市民農業者制度」の農などを念頭に、すべて耕創設に農業委員会職員として、常時従事・効率的利用を満たすと農業委員会が判断した場合に限り、農業には小規模でも農業生産による自立を目指さない者でも利用権設定を認めた。ド

取り組める人を一人でも増やすことが大事と考え、2008年、農業経営基盤強化促進法の下に市独自の新規就農基準を定めた。定年帰——「画期的」と全国から

## TOMIOファーム

代表 古屋 富雄さん

注目された。

大阪府の「準農家制度」

や福井県鯖江市の「新規就農促進支援システム」など、できたことは感慨深い。視

ない。農家でさえ耕作放棄してしまおうという実態を踏まえ、もう少し現実的な対応が迫られている。

農業委員会は改革を求められている。

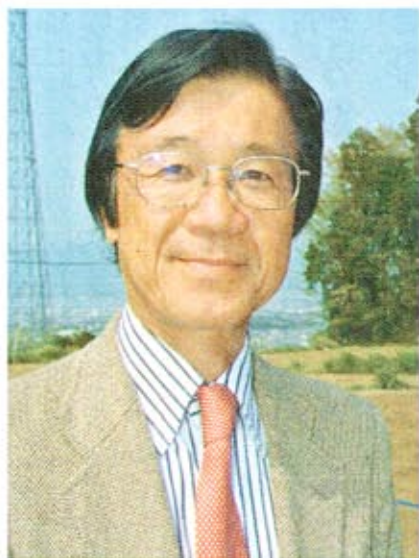
# 絶えず勉強・努力を

## 「農家に尽くす」が原点

——具体的に？

農業委員会は農家のため行政委員会であり、委員

市内のプロ農業者3人と連携して農業者塾を4月から始めた。耕作放棄地解消の地域への社会貢献と捉えることを就農条件とし、新規参入を促す。ただ中山間市も含め、実際の農に結びついた事例はまだ少ない。理解者をもつと増やさなくてはなら



ふるや・とみお

1952年神奈川県生まれ。82年南足柄市役所入所。2008～11年農業委員会事務局長。経済部担当部長を経て13年退職。14年4月から現職

0人を超えた。だが当市も含め、実際の農に結びついた事例はまだ少ない。理解者をもつと増やさなくてはならぬ。農家でさえ耕作放棄してしまおうという実態を踏まえ、もう少し現実的な対応が迫られている。農業委員会は農家のため行政委員会であり、委員市内のプロ農業者3人と連携して農業者塾を4月から始めた。耕作放棄地解消の地域への社会貢献と捉えることを就農条件とし、新規参入を促す。ただ中山間市も含め、実際の農に結びついた事例はまだ少ない。理解者をもつと増やさなくてはならぬ。農家でさえ耕作放棄してしまおうという実態を踏まえ、もう少し現実的な対応が迫られている。農業委員会は農家のため行政委員会であり、委員市内のプロ農業者3人と連携して農業者塾を4月から始めた。耕作放棄地解消の地域への社会貢献と捉えることを就農条件とし、新規参入を促す。ただ中山間市も含め、実際の農に結びついた事例はまだ少ない。理解者をもつと増やさなくてはならぬ。農家でさえ耕作放棄してしまおうという実態を踏まえ、もう少し現実的な対応が迫られている。農業委員会は農家のため行政委員会であり、委員

(聞き手・編集部)